

同仁

吾らの誓言は
 一合掌木殺共生の心
 人は皆佛子
 佛種を内に包む
 万物は同根
 合掌し合い
 共に生とる



油揚げぎょうざ



認定こども園

同仁東保育園

ゆうゆうクラブ

臨海学園

同仁会子どもホーム

同仁会乳児院

内原和敬寮

つくば香風寮

「ICTの導入」

「願成寺までの遠足」

「雨の日の話」

「私の好きな空間」

「繋がりを大切に」

「あの日の挨拶」

「素敵な子どもたち」

さくらの森乳児院

内原深敬寮

児童家庭支援センターだより

『らふいん』

理事会だより

「ねんねの前に」

「大変さとやりがい」



ICTの導入

〓認定こども園 同仁東保育園〓

現在いろいろな所でICT化が進められています。今回十六台のタブレットを購入してもらい、令和六年度よりコードモンというシステムを使用して、ICTの導入が始まりました。その中で「保育士の魅力」を考えたとき思いつくことは、昨日までできなかったことができるようになったり、新しい言葉を覚えたり、子どもたちは驚くほどの速さで成長していきます。そんな子どもたちの成長していく姿を間近で見ることができるのは、保育士にしか味わうことのできない魅力です。また、担任を持っていれば子どもたち一人ひとりの成長に加え、クラス全体がまとまっていく過程と一緒に体験できることも魅力の一つです。



そんな魅力がありながらも、保育士の仕事は大変とよく言われます。どんな仕事が大変なのかと考えた時、一番に思いつくことは「記録の多さ」なのかもしれません。そこでコードモンを導入し、少しでも職員の仕事効率化に繋がればと、現在一人ひとりの職員が頑張っている。現在取り組んでいる内容は、指導



計画の作成、保護者の方との連絡帳のやり取り、一斉配信にて日々の活動の様子の配信や写真を添付することで、より保護者の方に日中の様子を知ってもらい、安心に繋がればと願っています。また、身体測定の記録を打ち込むことでグラフとなり、より子どもたちの成長を実感していただけるようにもなっています。お便りについても、四月よりコードモン上に貼り付けし、ペーパーレスを取り入れることで、SDGsの取り組みに。そして登降園の確認においても、保護者の方に打刻をお願いすることで、クラスに誰がいるかの把握にも繋がりますし、休みの連絡も、以前より電話連絡が少なくなり、職員誰もがタブレットで確認できることが利点となっています。まだまだ取り入れられることはたくさんありますが、少しずつ覚えながら業務の効率化に向けて、前向きに取り組んでいきたいと思っています。

願成寺までの遠足

〓ゆうゆうクラブ・子育て支援〓

毎年恒例の遠足で、願成寺へ行きます。願成寺までに向かう道で、普通の道を歩く「簡単コース」険しい道や砂浜を歩く「アドベンチャーコース」に分かれました。「今日は普通コースにする。」と話していた子どもたちも、「アドベンチャー行く！」と喜んでいました。「先生もこっちなね！」と誘われ、「アドベンチャーコース」に挑戦しました。昨年歩いた道を覚えている子どもたちは迷いなく進んで行きます。途中で海が見えると「やっほー！」と叫ぶ子どもたち。疲れが出てくると上級生が下級生に「頑張ろう。」と声をかけ、険しい道を乗り越えていきました。

願成寺に着いてからはみんなで昼食にし、おにぎりを食べ終わってから、子どもたちは鬼ごっこやかくれんぼをして学年関係なく楽しく遊びました。

帰りは、子どもたちの足にも疲れが出始めたようで「休憩まだ？」「もう歩けないよ。」と何度も弱音が出ましたが、子どもたちを見るとリュックを交換で持っていたり、手を繋いで励まし合ったりしていました。

思い出作りの行事ではありませんが、子どもたちの成長している姿を見て、刺激を受けました。笑いあり、学びありの充実した遠足が何十年先も子どもたちの思い出になりますように。

雨の日の話

臨海学園

その日の天気は雨でした。さらに臨海学園では点検のため停電中。暗いリビングで、一人の男の子が他の子と一緒に買い物に行けなくて泣いています。

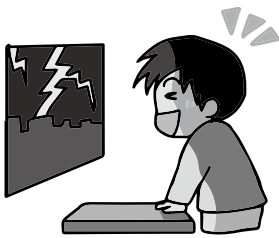
「また違う日に行こうね。」「晴れてる日に行こうね。」と私はその子を慰め、その子が好きな動画や映画を楽しみ「他の子には内緒にしよう。」と言ひ、一緒にお菓子を食べました。泣いていた男の子がすっかり笑顔になったころ、停電が復旧し、リビングが明るくなりました。明るくなった部屋で一緒に塗り絵をしていると、買い物に出かけた子たちが帰ってきました。男の子は「秘密だよね。」と私にこそつと言つて笑ひ、他の子たちを笑顔で迎えました。

それから半年経った雨の日に、その子が私の所に来て「前の停電楽しかったね。」と言ひました。あんなに泣いていたのに『楽しかった』という思い出になつてその子の心の中に残つていたので、一緒にお菓子を

食べて動画や映画を見たこと。

そしてその子が「楽しかったよね。」と言つた時の笑顔が、今も私の心に残つて

います。



私の好きな空間

同仁会子どもホーム

同仁会子どもホームでは、児童指導員や保育士が毎日ご飯を作っています。献立を考えて買い出しに行き、夕食から翌日の昼食（弁当）、おやつまでの準備を行います。作業工程が多く、私も慣れるまで大変でしたが、四年目を迎えて楽しみながら調理業務を行っています。

子どもたちは、学校から帰るとまず調理室のドアを開け、「〇〇さん、今日のご飯何？」と声を掛けてくれます。私はこの瞬間が大好きです。この言葉から会話が生まれ、普段はアルバイトや部活動で話す機会が少ない中高生ともコミュニケーションが取れます。また、職員同士で子どもの成長を話したり、お互いのプライベートを話したりすることもあります。調理室は子どもや職員のことを深く知る場所であり時間になつていきます。

調理業務は、時間内に作り終えることも重要ですが、職員や子どもたちとの会話ができる空間も大切にしています。今後も心地良い空間を守りながら務めていきたいと思ひます。



繋がりを大切に

同仁会乳児院

感染症の流行が落ち着き、同仁会乳児院では行事や面会、交流の制限が緩和され少しずつ日常に戻つてきています。そして昨年「いとの会」という新しい行事が開催されました。「いとの会」とは、乳児院から巣立つたお子さんやそのご家族を招待し、軽食やゲーム、演奏会を楽しみながら交流するイベントです。「糸のように乳児院を巣立った子どもたちと繋がっていたい」「子どもたちは、いと、おいしい存在である」という意味が込められています。

以前担当していたAちゃんが里親さんと一緒に参加してくれることになり、六年ぶりに再会しました。小学二年生になったAちゃんは「何かお手伝いします。」と自分から声をかけてくれ、敬語も使えるようになっていました。すっかりお姉さんになったその姿に嬉しくなり、とても胸が熱くなりました。帰るときには「また来たい、また来るね。」と言つてくれました。久しぶりに会った子どもたちの元気な姿に愛おしさでいっぱいになり、この仕事をやっていて良かったと、改めてやりがいを感じられました。今後も繋がりを大切に、同仁会乳児院が子どもたちにとって、いつでも帰って来られる、安心できる場所になりたいです。



あの日の挨拶

～内原和敬寮～

数年前、口数が少なく、あまり人と近づこうとしないA君が入ってきました。施設での生活に慣れ始めるとともに、ある程度職員と会話ができるようになりましたが、学校から帰ったA君に「おかえりなさい。」と挨拶をしても、目を合わせることもなく無言で部屋に戻る生活が続いていました。施設での生活が二年ほど経ったある日、いつものように「おかえりなさい。」と声を掛けると、「一言「ただいま。」と挨拶をし、いつものように部屋に戻っていききました。その日を境に、毎回ではありませんがA君は挨拶を返してくれるようになりました。あの時の挨拶はA君にとってはただの気まぐれだったのかも知れませんが、しかし、あの日やると施設がA君にとって帰って来る場所になれたのか、もしくは私が帰りを待つ人として受け入れてもらえたのかもしれない。そう思うと、返事が返ってこないからといって、挨拶を止めずに続けてきて良かったと感じられます。

挨拶をしたら返ってくるという、日常の中で気に留めようとも思わない当たり前のやり取りではありますが、あの日の挨拶は私にとって大切な思い出となつていきます。



素敵な子どもたち

～つくば香風寮～

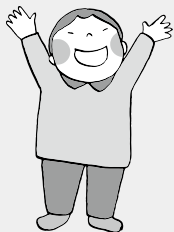
私の担当しているグループの子どもたちはいつでも『ありがとう』が言える素敵な子どもたちです。普段当たり前のように聞いていますが、よく考えると『ありがとう』という言葉を担当の前に言える子どもたちはとても凄いと感じたので二つエピソードを紹介します。

中学生の女の子が、使い終わった食器を大人に渡すとき「お願い。」と言い渡してくるので偉いねと褒めると、「当たり前じゃん、やってくれるんだから。」と言うのです。確かにそうですが、自分なら母に対し、そんな風に思っていたかなと思うと、その一言が言えることは素敵だな、凄いなと思いました。

私の担当していた子どもの退所の際、みんなに挨拶をした後、その子を見送るため少しいただけ二人だけの時間があり、思い出話をしていました。「ありがとう、お疲れ様でした。」とその時に言われ、様々な気持ちが入り混じり、入所から大変なこともありましたが『ありがとう』という一言で報われた気持ちになりました。

私たちの言葉をたくさん聞いている子どもたち、その成長に大きく関わる職業だからこそ感謝の言葉を大切に『ありがとう』をたくさん伝えていきたいと思ってきました。

ありがとう



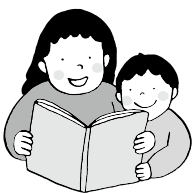
ねんねの前に

～さくらの森乳児院～

さくらの森乳児院では、お風呂に入ってから寝るまでに、夜勤者とゆったり過ごす時間があります。私はこの時間に手遊びをしてから絵本を読むことにしています。日中は外へ遊びに行つて身体を動かすことが多いので、子どもたちと一緒に歌を歌いながら手遊びするこの時間は貴重で、楽しいひとときです。

子どもたちもこの時間を楽しみにしています。どの保育者が何の絵本を持っているか覚えていて「今日はあの絵本が読みたい。」とリクエストしてくれます。パンの絵本を読むときにはみんなでパンを食べる真似をして、にらめっこの絵本を読むとみんなで面白い顔をして笑い合います。

ねんねの前のこのひとときが、子どもたちにとって良い一日の終わりになればと思います。



大変さとやりがい

～内原深敬寮～

内原深敬寮に入所している児童の中には壮絶な生活を送ってきた子もいます。入所当初は不安が高まって落ち着かなくなることや問題行動を起こすことも多くあります。また、入所当初に限らず、入所歴が長い児童でも不安が高まって問題行動を起こすこともありま

す。その対応をしていると、大変だな、辛いな、と思うことも多々ありますが、日常生活の中で何気ない一言や行動で可愛いな、成長したな、と感じることもあります。先日、退所を控える児童と生活の場を離れ、カラオケに行きました。行きの車内で退所をするに触れ、入所当初やその子が問題行動をよく起こしていた時のことを振り返りました。当時であれば注意や指摘をするだけで怒るのですが、「そんなこともあったね。」と振り返ることができていて、当手を振り返られるまで成長したのだなと感じました。また、生活の場に戻る際には「ありがとう。楽しかった。」と、普段なら素直に気持ちを表現しないのですがその子の素直な言葉が聞けて、ジーン、とくるものがありました。深敬寮では、一人ひとりの生育歴や発達段階に応じて支援を検討していかなければならないため、経験年数を経ても困難が立ちほだかることも少なくありません。ですが、子どもたちの素直な一面や微笑ましい言動を見たり、成長を感じられる場面を目にしたりすると、やりがいを感じます。ささやかなやりがいを積み重ねて今後の支援の糧にしていきたいと思えます。



ぷち・ぱちエピソード

S君は、すぐに駆け寄り「大丈夫？帽子洗えば綺麗になるよ。」と優しく声を掛け、帽子を手渡します。

ある日の登校中、小学生が正門前で泣いています。水たまりに帽子を落としてしまったので周りの子たちもどのように声を掛けたら良いかと戸惑っている様子。S君が真っ先に走っていく姿や相手を心配して声を掛ける様子を見て、感動とともに成長を感じました。(同仁会子どもホーム)

お楽しみ会ではじめの言葉を3歳のお兄さんとお姉さん三人に言ってもらいました。「いまから『おたのしみかい』をはじめます。」というセリフが“おともだちかい”になってしまい、その場にいた職員はその可愛い言い間違いに思わず笑ってしまいました。その後も『おたのしみかい』がなかなか言えず、最終的には満面の笑みで「おもちつき」たのしかったね。」と言っていました。「違う行事になっちゃったね。」とみんなで大笑いしました。(同仁会乳児院)

『同担拒否』、これはアイドル等自分が好きな対象が他者と被ってしまうことを拒否することを意味します。家族では大好きなお父さんお母さんを「きょうだい」ととられたくない、施設では自分の担当にどうすれば好いてもらえるかと、子どもたちは奮闘しています。

A君は、入所したばかりで同担のB君との関係性に拒否的でした。しかし、担当に認めってもらうためにA君は、B君との関わり方を毎日模索しています。この甲斐あって、最近では少しずつ適切に関わることができるようになっていきます。二人の関わり方に心配なところもあると同時に、成長がとても微笑ましいです。(内原深敬寮)



油揚げぎょうざ



ぎょうざの皮の代わりに油揚げを使い、ひき肉で作ったあんを油揚げに詰めて、フライパンでこんがり焼く包まないぎょうざなので、とても簡単に作れます。

【材料】2人分

- ・豚ひき肉 200g
- ・砂糖 小さじ1
- ・玉ねぎ 1/2 個 (100g)
- ・ごま油 大さじ2/3
- ・ニラ 1/2 束 (50g)
- ・しょうゆ 大さじ1
- ・おろししょうが 小さじ1/2
- ・こしょう 適量
- ・おろしにんにく 小さじ1/2
- ・片栗粉 小さじ1と1/2

【作り方】

- ①油揚げを半分に切り、袋状にし断面から手で開く。
- ②玉ねぎはみじん切りにして、ニラを細かく切る。
- ③たねの材料をボールに入れる。たねの材料は、玉ねぎ・ニラ・豚ひき肉・おろしにんにく・おろししょうが・しょうゆ・こしょう・片栗粉・砂糖・ごま油。
- ④粘りが出るまで、たねを手でよく混ぜる。
- ⑤たねを4等分して、油揚げに詰め、平らにならす。油揚げの角の部分までたねを詰めて平たくする。
- ⑥フライパンに並べ、フタをして火にかける。
- ⑦フライパンが温まったら弱めの中火にして、10～15分ほどかけて両面こんがり焼く。



相談室の窓から

あいびーからほじまるおつきあひ

あいびーではお寺様や企業様から食品などの寄付をいただき、地域の子育て家庭にお届けする活動をしています。あいびの始動により「寄付をいただいたので、いかがですか」と、ご家庭に訪問するハードルが低くなったように感じます。

実際に、「そういうえば最近連絡がないけど〇〇さん元気にしているかな。」と様子が気になるご家庭があれば、あいびを持って訪問したり、「ちょっと近くまで来たから寄ってみました。」と訪問したりすることもあります。あいびが届く家庭もうれしい、お会いできた私たちもうれしい、そんな一度で二度おいしいあいびは、最高のご家庭とおつきあひの入り口だと感じています。

しかし、私たちのような機関が訪問することに対し、「戸惑いを感じられることもあるか」と思います。私たちは、食を必要としているご家庭に品物を届けることはもちろんですが、おやつなどを家族と一緒に食べて、少しでもホッとできる時間や団らんの時間につなげてほしいという想いも込めて、あいびをお届けしています。その中で少しずつあいびーのを知っていただき、お話しができれば嬉しいですね。

訪問してもお会いできない日が続くこともありますが、いつかお会いできることを願って、今日もあいびをお届けに行きたいと思っています。

「こんにちは〜あいびです!!」

同仁会児童家庭支援センター（高萩地区）令和5年度 相談受付状況

	養 護		保健	障害	非行	育 成				いじめ	DV	その他	合計
	虐待(再掲)					性格行動	不登校	適正	しつけ				
実件数	130	54	31	13	2	37	5	0	0	0	0	2	220
延べ件数	721	319	106	67	2	116	22	0	0	0	0	2	1036

児童家庭支援センターあいびー（内原地区）

実件数	178	71	3	28	0	57	48	0	13	0	0	0	327
延べ件数	653	276	10	95	0	184	150	0	29	0	0	0	1121

※令和6年3月末現在

里親支援

前回この文章を書かせていただいた三年前は、里親支援に携わり始めて間もないころでした。自分が何ができるのだろうかという不安がありつつも、できることがあれば頑張ろう、とやる気だけはみなぎっていたのを思い出します。あれから、たくさんの里親さんと関わらせていただいたり、里親制度について理解を深めたりしてきました。その中で、自分に何ができるのかを問い、お役に立ちたいという思いや、やる気は変わっていません。

これまで、何人かの子どもが施設から里親さんのご家庭に委託となりました。子どもたちは、それぞれに悩みや不安や葛藤がありながらも、新しい生活に希望を持ち巣立っていきました。里親さんとの交流の中で委託とならなかつたこともありました。どの里親さんとも子どもたちの気持ちを受け止め、寄り添ってくださいました。社会的養護を必要とする子どもを家庭で育てる尊厳と、大変さを痛感した二三年間でもありましたが、全ての里親さんに畏敬の念を抱いております。本当にいつもありがとうございます。

内原和敬寮では、里親さんのご家庭に行つた子どもでも、望むのであれば定期的に気軽に遊びに来てもらっています。会う遊びに少し大きくなった子どもを顔を見て、職員も驚いたり喜んだりしています。そういった関わりの中から、住む場所や養育者が変わつても、いつも変わらず大切に思つてくれるというメッセージの一つとなればと思つています。これからは、里親さんや子どもたちの為に何ができるか、何を必要とされているかを考えていきたいと思つています。

理事会だより

◎第二六一回理事会

日時 令和六年三月二日(火)
午後二時から午後三時二〇分まで
会場 同仁会子どもセンター
ターム応接室

【報告事項】

第一号報告
「社会福祉法人・施設一般検査結果及び改善処理状況について」

各施設の実地検査結果と指摘事項の改善状況を報告しました。

第一号報告

「諸規定の一部改正について」
一部改正状況を報告しました。

【審議事項及び結果】

第一号議案
「令和五年度最終補正予算(案)について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案
「令和六年度経営・運営計画(案)について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第三号議案
「令和六年当初予算(案)について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第四号議案
「つくば香風寮の土地購入について」
分園型小規模施設建設用土地の購入について、審議の結果、原案どおり承認されました。

第五号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第六号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第七号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第八号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第九号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第十号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

審議の結果、原案どおり承認されました。

◎第二六二回理事会

日時 令和六年五月十八日(火)
午後二時から午後二時五〇分まで
会場 同仁会子どもセンター
ターム応接室

【審議事項及び結果】

第一号議案
「令和五年度事業報告(案)について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第二号議案
「令和五年度決算報告(案)について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第三号議案
「諸規則の一部改正について」
就業規則、給与規則に関する規則の一部改正について、審議の結果、原案どおり承認されました。

第四号議案
「つくば香風寮の土地購入について」
分園型小規模施設建設用土地の購入について、審議の結果、原案どおり承認されました。

第五号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第六号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第七号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第八号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第九号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第十号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第十一号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第十二号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

第十三号議案
「評議員会の開催日時及び審議事項について」
審議の結果、原案どおり承認されました。

評議員会審議状況報告

◎第七十一回評議員会

日時 令和六年三月二十八日(木)
午後二時から午後二時四〇分
まで
会場 同仁会子どもセンター多目的
ホール

【審議事項及び結果】

第一号議案
「令和五年度最終補正予算(案)に
ついて」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

第二号議案

「令和六年度経営・運営計画(案)
について」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

第三号議案

「令和六年度当初予算(案)について」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

第四号議案

「定款の変更について」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

◎第七十二回評議員会

日時 令和六年六月十三日(木)
午後二時から午後二時四〇分
まで
会場 同仁会子どもセンター多目的
ホール

【審議事項及び結果】

第一号議案
「令和五年度事業報告(案)について」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

第二号議案

「令和五年度決算報告(案)について」
審議の結果、原案どおり承認され
ました。

貸借対照表

令和6年3月31日現在

資金収支計算書

自令和5年4月1日 至令和6年3月31日

(単位:千円)

(単位:千円)

貸借対照表 table with columns: 資産の部, 負債の部, 純資産の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 基本財産, etc.

資金収支計算書 table with columns: 科目, 決算額. Rows include 事業活動収入, 事業活動支出, etc.

事業活動収支計算書

自令和4年4月1日 至令和5年3月31日

(単位:千円)

事業活動収支計算書 table with columns: 科目, 決算額. Rows include サービス活動収益, サービス活動費用, etc.

※注1: 資金収支計算書、事業活動収支計算書及び
貸借対照表は、千円未満は四捨五入で表示
しております。そのため、合計金額が合わ
ない場合があります。
※注2: 法人内取引は消去しています。

こどもギャラリー ~同仁東保育園~



風船バレーの活動で、小学生
 対「職員」で対決をしました。
 あと一点で小学生が勝つ場面：
 Aさんが何度も打ち返し、見事
 に勝利！しかし、喜んだのはA
 さんのみ。「なぜ喜ばないの？」
 と怒るAさん。Bさんに話を聞
 くと「私も打ちたかった。」と
 理由を話してくれました。職員
 がお互いの気持ちの整理を手伝
 い、相手の気持ちに気がつき仲
 直りできました。成長を感じた
 素敵な出来事でした。
 自分の気持ちと相手の気持
 ち、感情を考える機会となりま
 した。自分も大切に相手も大切
 にできる方法をこれからも子ど
 もたちと一緒に考えていきたい
 です。

人によって違う 『怒り』の 表現方法

編集後記

昨年は職場の同僚に誘ってもらい、富士登山に挑戦しました。挑戦する前は不安が大きいことも、少しの勇気を出してみる事が大事なのかもしれないと学びました。今年ももう一人増えて三人で挑戦する予定です。再来年にはさくらの森登山部ができてくるかもしれせん。
 (小)

私ごとではありますが最近結婚をしました。子どもたちにも苗字が変わったことは伝えていますが、子どもたちも私自身も他の職員も新しい苗字に慣れず、書類やシステム上で旧姓と新姓が入り交じっていて「ここに押す判子は旧姓？新姓？」という会話を何度も繰り返し、ちょっとした混乱が起きています。
 (阿)

今年で入職して九年目、年齢もついに三十路になろうとしています。入職したときから見ている子どもたちに「25歳くらいで止まっている。」と言われ続け、私自身も若いと思いつ込んでいました。体力の衰えや胃もたれなどなど、身体は老いを感じていて悲しい気持ちに。最近では心だけでも若くしようと心がけています。
 (山)

【発行】

令和6年8月
 高萩市肥前町1丁目80番地
 社会福祉法人同仁会
<https://doujinkai.or.jp>
 発行数 1,300部

【編集】

社会福祉法人同仁会
 情報公開委員会

【印刷】

佐藤印刷株式会社